

ふくしま グローバルセミナー

2017

実施報告書

日時

平成29年9月23日(土) 10:00～
24日(日)～11:50

場所

JICA二本松

主催：福島県国際理解教育ネットワーク(FIENET「ファイネット」)

◎構成団体

福島県、福島県教育委員会、公益財団法人福島県国際交流協会、JICA二本松
(独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局二本松青年海外協力隊訓練所)

グローバルセミナーとは

グローバルセミナーは、二本松市にJICAの青年海外協力隊訓練所が設置されたことを契機に、1997年に「東日本国際協力セミナー」という名称でスタートし、2017年をもって通算で21回目の実施となりました。

回を重ねるごとに、内容の充実を図るなど、工夫を凝らしてきたグローバルセミナーは、毎年、県内外から多くの方々の御参加をいただき、今回も高校生からシニア世代まで、幅広い経歴の方々が一堂に会し、寝食をともにしながら議論や体験を共有することにより、新たな出会いや発見や気づきを生み出す場とすることができました。

本セミナーは、講座を担当する講師も一参加者としてその相互の学び合いに加わり、“参加型の学びの場”が形成されるような運営を心掛けてきました。

このセミナーを通じて、まさに “Think Globally, Act Locally” を実践する福島発の多彩・多様な国際協力・国際交流の形を知ることができます。

参加された方々の中には、国際協力を専門的に学べる学校に進学した方や青年海外協力隊に参加された方、国際協力を行うための活動に乗り出した方など、行動を起こした方々が数多くおり、セミナーの開催趣旨である人材育成に少なからず寄与できているのも、参加者一人一人が本セミナーにおいて深く学び、真摯に思いを受け止めてくださった賜物にほかなりません。

2003年からは、福島県内の学校や地域における国際理解教育の普及や質の向上などの推進のために、福島県国際課・福島県教育委員会・JICA 二本松（独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局二本松青年海外協力隊訓練所）・（公財）福島県国際交流協会の4団体が連携・協力して、より効果的に事業を展開していこうと組織された「福島県国際理解教育ネットワーク Fukushima International Education Network（F I E N E T・フィーネット）」の事業として主催しており、講師を含めた参加者の皆さんが、意義を強く感じるセミナーに育ててきてくださっていることに深く感謝いたします。

セミナー実施内容

- 1 開催趣旨 学校や地域において、国際交流、国際協力、多文化共生、国際理解教育・開発教育等の活動を担う人材を育成する。
外国出身者などによる母国紹介や、国際協力現場レポートなど、18講座（自主セッションを除く）を実施。
- 2 開催日時 平成29年9月23日（土）～9月24日（日）
- 3 開催場所 JICA二本松青年海外協力隊訓練所
- 4 参加者数 123名（高校生45名、大学生15名、一般63名）
（1日のみ参加：31名、両日参加：92名）
※講師、スタッフを除く



開会式



(10:00~10:15)

9月23日(土)

あいさつ

福島県生活環境部国際課 課長 熊耳 知徳

福島県教育庁高校教育課 主幹 遠藤 利晴



オープニングセッション



(10:15~11:15)

全体講師：田中 浩平さん（青年海外協力隊ネパール会）



- ◆ 講座のねらい
 - ・参加者のアイスブレイクとセミナー参加の目的の確認、2日間のセミナーへの動機付け。
- ◆ 講座の内容
 - ・導入：アイスブレイク（じゃんけんハイタッチなど）。
 - ・展開：グループ（1グループ6名程度）ごとに参加者自己紹介（名前、所属、今気になっていること、参加の動機など）。
 - ・まとめ：グループでの意見の集約、全体で発表。
- ◆ 受講者の声
 - ・最初は緊張していたが、じゃんけんのゲームや自己紹介などで緊張がほぐれた。たくさんの人と接することができて良かった。
 - ・自身の紹介を相手に伝えることがこんなにも勇気がいると思わなかった。自分から話しかけないといけないのが大変だった。
 - ・田中さんが登場するときに笛を吹いていたので驚きました。じゃんけんハイタッチは、初めましての人たちと打ち解けることができてうれしかったです。学びを深めるための4つの事を守り、有意義なものにしたいです。
 - ・コミュニケーションを図る、ハイレベルなスキルに驚かされた。
 - ・今回参加する目標を改めて確認することができた。
 - ・世代を超えた人たちと交流できてとても良かった。積極的に話しやすかった。
 - ・変化を与えた工夫に感心している。

ランチ交流会 (11:30~12:45)



県の国際交流員の3人が進行。

交流員がそれぞれ自己紹介をし、乾杯の一声を上げ、会場の雰囲気盛り上げました。

- ◆ 受講者の声
 - ・立食なのは意外だったが、楽しく話をしながら食べることができた。
 - ・いろいろな意見、世代、国の人たちと話せてとても良い機会になった。
 - ・ご飯を食べるのに夢中であまり交流することができなかったけど、知らない人が来て一緒に食べたり、自己紹介したのでなんとなく交流することができました。
 - ・意外と（ごめんなさい！）おいしかったです。
 - ・いろいろな国の料理があるとうれしい。

セッション1 (13:00~14:30)

講座 A

レヌカの学び ～自分の中の異文化への気づき～

講座担当者：田中 浩平さん（青年海外協力隊ネパール会）



- ◆ 講座のねらい
 - ・自分の中の「思い込み」「偏見」に気づく。
 - ・異文化理解のカギは自分自身の中にあることを体感する。
 - ・「国」ではなく「個人」の視点で、多文化共生のために私たち一人ひとりにできることを考える。
- ◆ 講座の内容
 - ・導入：ネパールの数字を使ったアイスブレイキングとグループ分け。
参加者自己紹介（ネパールでイメージするものなどを共有）。
ネパール紹介（国や文化など）。
 - ・展開：各グループで「レヌカの学び」カードを使ったワークショップ。
 - ・まとめ：意見交換とふりかえり。
- ◆ 受講者の声
 - ・ネパールに関する知識、たくさん学べました。
 - ・国が変われば我々が常識と思っていることがまったく違うことがある。相互理解が大切だということがありました。
 - ・日本での聾学校とネパールの聾学校での習慣、言葉の持つ意味の違い、とらえ方、環境によって教育によって変わることが発見された。
 - ・レヌカさんの視点（発展途上国）と私たち（先進国）の視点がとても違うことが、カードを使ってグループで考えあつたのでとても分かりやすく理解できた。
 - ・ネパールというあまりイメージがわからない国でしたが、ワークショップを通して、また講師の田中さんの話によりネパールの文化の一端を知ることができ勉強になった。

講座 B

日本と中国の翼 ～ダブルの文化を持つ子どもたちの成長とともに～

講座担当者：城坂 愛さん（つばさー日中ハーフ支援会）、小島 薫さん（福島県立須賀川桐陽高校生）



◆ 講座のねらい

- ・日本の社会には外国にルーツを持つ子どもが沢山いるという現状を知ってもらう。
- ・次世代の子どもたちは自分のアイデンティティを大切に、ダブル文化を持つ優勢に自信を持つこと。グローバル人材になる環境は一人一人の力であること。

◆ 講座の内容

- ・つばさの活動紹介。
- ・つばさ会員の小島薫さんの6年間の成長を通した、ダブル文化を持つ子どもたちの心を成長について。
- ・小島薫さんが最初は抵抗感があったボランティア活動に今は熱心に参加していること、将来は国際協力活動に関する仕事を夢としていることを紹介し、多文化共生の環境作りの大切さを伝える。

◆ 受講生の声

- ・中国文化の奥深さ、大らかさを学ぶことができました。生活者としての外国の方とのサポートについて考えていきたいです。
- ・小島さんは自分と同じ年齢なのに、自分よりも行動に移しているし、たくさん考えていると思いました。他の言語を学ぶときは恥ずかしがらずに成長のために積極的に話そうと心がけるようにします。
- ・ハーフとダブルの違いを知れて良かったです。国によっていろいろな価値観があるのだなあということもわかりました。
- ・多文化共生社会は一人ひとりの力にかかっていることを理解しました。
- ・ハーフではなくダブルであるということがすごく印象に残りました。また、親子の成長が描かれていたところが全体の構成として大変良かったです！！ありがとうございました。

講座 C

Let's Communicate! ～外国人とのコミュニケーションの秘訣～

講座担当：大屋 直美（公益財団法人 福島県国際交流協会国際交流員）



◆ 講座のねらい

- ・コミュニケーションの重要性を知ってもらう。
- ・参加者のコミュニケーション力を高める。

◆ 講座の内容

- ・自己紹介を英語とフランス語で行い、コミュニケーションの基本や難しさを考えてもらう。
- ・コミュニケーションの基本は、3つに分けて、話すこと、聞くこと、説明。それぞれについてゲームやアクティビティをやりながら説明し、練習する。
- ・体で学ぶため、最後に伝言ゲームを行う。

◆ 受講生の声

- ・日本人はコトバより人の顔をうかがうので、思い込みが激しいのかと思いました。
- ・先生が明るく楽しい人で面白かった！コミュニケーションをとる上で、自分のクセを見直せて良かったです。
- ・外国人との交流に必要なことを、ゲームを通じて教えてもらえた。伝言ゲームなどで「話す・聞く」の重要性を感じた。
- ・ナオミさんから Let's communicate について講義を受けました。Communication の取り方や、また簡単に説明することが何よりも大切なのだと思いました。

- ・コミュニケーションでは何を話すか考えてから話すことにより、うまく話せることが分かった。とても説明の仕方が良かった。

講座 D

芝生は青色それとも緑色？～外国語としての日本語～

講座担当者：奥秋 和夫さん（郡山女子大学短期大学部・非常勤講師）



- ◆ 講座のねらい
 - ・日本語を学ぶ外国人の素朴な疑問を通して、文化の違いを理解し、尊重すると共に、母語としての日本語の素晴らしさを認識してもらう。
- ◆ 講座の内容
 - (1) 日本語ってどんな言葉？
外国語と比べた場合の日本語の特徴及び、日本語の会話に表れる日本人の性質や文化背景を受講者と共に考える。
 - (2) 外国人学習者から出された日本語に対する疑問を紹介しながら、文化の違いや日本語の表現力の豊かさについて考える。
 - (3) 外国人学習者が作った面白クイズを紹介して、外国人のユーモア・文化に触れる。
- ◆ 受講生の声
 - ・日本語の特性を改めて知ることができた。実際に外国人の友人から質問された内容も含まれていたためスッキリした。
 - ・日本語の難しさと奥ゆかしいところを感じることができ、もっと時間がほしかった。また来年もやってほしい。
 - ・日本語についても楽しい知識が得られた。日本語のプロからの話は大変面白かった。
 - ・当たり前に使っていると、日本語の不思議に気づかないことが多いんだと感じました。日本語の良さに気づくことができました。
 - ・日本語は「おもてなし文化」を反映した言語であることを改めて知った。

講座 E

貿易ゲーム～世界貿易を疑似体験！～

講座担当者：齋藤 健也さん（県国際交流協会主催事業「ふくしまユースグローバルカレッジ」6期生）
前田 尋貴さん（県国際交流協会主催事業「ふくしまユースグローバルカレッジ」6期生）



◆ 講座のねらい

- ・ 世界経済の動きを貿易ゲームを通して疑似体験し、世界貿易で生じる様々な問題を学ぶ。
- ・ 同じ地球、同じ時を過ごしている我々でも、立場を変えて色々な状況下で生きていることに気づいてもらう。
- ・ 自分のこととして考えてもらい、今の自分に何が出来るのか、一緒に考え、意見をグループで共有する。

◆ 講座の内容

- (1) アイスブレイキング。
- (2) 貿易ゲームの実践。
- (3) 振り返り（ワークシート（私の素直な気持ち・ゲームの振り返り・今の自分にできること）記入、グループで意見交換）。
- (4) 今の自分にできること（講師が今までの活動を発表）。

◆ 受講生の声

- ・ 純粋に楽しんでしまいましたが、終わった後、考えさせられることは多かったです。
- ・ チームで協力して型を作り、高く売れたときはうれしかった。各国で袋に入っているモノの違いが、世界の国々と重なるところがすごいと思った。勉強になった。
- ・ 経済格差、資源格差による問題を改めて知ることができて良かった。
- ・ 世界の現状を自分に置き換えて知ることができました。
- ・ 私は世界を知って何かできたらという思いがあるけれど、自分の国を守ろう、お金を稼ごうという精神にショックだった。世界がどう動いているかもっと知ろうと思う。

講座 F

東京オリンピック・パラリンピック～その光と影～

講座担当者：菊地 恵美子さん（国際交流の会・かるみあ（早稲田大学大学院））
青沼 由衣さん（早稲田大学大学院）



◆ 講座のねらい

- ・ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関心を持つ。
- ・ オリンピック・パラリンピックを光と影の側面から考える。
- ・ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの期待と課題について整理する。

◆ 講座の内容

- (1) アイスブレイキング：〈4つの窓〉で自己紹介。
- (2) アクティビティ
 - ・五輪憲章クイズ：3択クイズ。
 - ・五輪への期待と課題：カード分類。
※開発教育協会「Global Express 東京五輪 2020 アクティビティ3」を使用。
- (3) 振り返り：グループでの分類をそれぞれ発表。
 - ・ワールドカフェで共有。
 - ・魔法のマイク：一人一言。
 - ・ふりかえりシート：シートへの記入を通して講座全体を振り返る。

◆ 受講生の声

- ・たくさん意見を聞けました。価値観ってやっぱりいろいろありますね。
- ・クイズがとても楽しくオリンピックについて良い部分、悪い部分を知ることができた。
- ・オリンピックの光と影という、メリットだけでなく多面的な捉え方ができて良かった。
- ・オリンピックの良いところ、悪いところ、2020年まで、終わってからの自分の立ち位置を考える良い機会になりました。
- ・目からウロコのような感じでした。違った目線でオリンピックが見れそうです。タイムリーな話題だったので良かったです。

セッション2 (14:45~15:45)

講座 A

Living in a multi-cultural society

講座担当者：Debopriyo Roy さん (Professor at University of Aizu)



◆ 講座のねらい

- ・参加者に社会的及び政治的な問題を知ってもらうとともに、日本を多文化社会にするための方法を考えさせる。

◆ 講座の内容

- ・多文化社会論について。
- ・多文化社会の定義。
- ・多文化社会の政治。
- ・経済社会の示唆。
- ・世界中からの意見及びアイデア。

◆ 受講生の声

- ・英語でセッション受けてとても良かったです。日本のグローバル化がこんなに出遅れているなんてビックリしました。
- ・日本のこれからの異文化交流及び外国人受け入れについて重要性が理解できた。
- ・おもしろかった。ディスカッションなど、同じグループの人と話す時間もほしかった。

- ・話の内容が面白かったです。英語のレベルや言葉使いがちょっと難しすぎなのではないかと思いました。

講座 B

感動いっぱい！驚きいっぱい！フランス生活

講座担当者：内山 あつ子さん（元パリ日本人学校派遣教諭（郡山市立郡山第四中学校教諭））



- ◆ 講座のねらい
 - ・フランスなど外国への興味・関心を深めるとともに、日本の良さを再確認する。
- ◆ 講座の内容
 - ・導入：フランスの簡単な紹介（国旗、国歌、国土等）。フランスに対するイメージを書いてもらう。
 - ・展開：フランスについて、一般的なイメージと同じ部分と違う部分を詳しく紹介するとともに、日本の良さを再確認する。
 - ・まとめ：一歩踏み出し、外国について自分自身で経験し、外国の文化に身をもって触れ、異文化に対する理解を深める。
- ◆ 受講生の声
 - ・フランスの良さもある反面、フランスには不便な面もあり、そして日本での生活のありがたみがわかるのだと思いました。思い立ったらすぐに行動したいです。
 - ・想像以上にゴミ問題は深刻そうだった。観光には適していると思ったけど、住むには難しそう。
 - ・観光名所より、生活して困ったことや生活している子供たちの事をもっと知りたかった。どのように福島を感じているかなども・・・。
 - ・フランスについて今まで全く知らなかったことや勘違いしていたことを改めて知ることができて良かったです。

講座 C

アジアのこども支援～フィリピン、ベトナム、モンゴル、カンボジア～

講座担当者：菅野 良二さん（シェア・ラブ・チャリティーズの会）



- ◆ 講座のねらい
 - ・愛を分かち合うことにより、貧困・戦争に巻き込まれない国になる為には児童教育が一番と考えられることを伝える。

◆ 講座の内容

- ・児童教育が徹底されることにより、地域の貧困が解消され、平和な国になる事が出来ると信じ、貧困国への学校の寄贈、日本の学校と現地の学校の交流、中古の鍵盤ハーモニカ・リコーダーの寄贈による音楽での交流等を盛んにしていきたい。

◆ 受講生の声

- ・格差は教育から生じるということがわかりました。格差のない世界になったら良いと思いました。
- ・福島に対しどう相手が思っていたのかを知った時、とてもつらい気持ちになりました。福島の事をもっと相手に伝えていかなければならない、それと同時に相手への支援も忘れてはいけないと痛感しました。
- ・ワークショップや意見交換できると良かった。多くの支援をされていることに感動した。

講座 D

高校生交換留学～異文化理解って何なのかな？～

講座担当者：近内 成子さん（公益財団法人 AFS 日本協会 福島支部）

宮川 洋さん（公益財団法人 AFS 日本協会 福島支部）



◆ 講座のねらい

- ・交換留学を通しての異文化理解

◆ 講座の内容

- (1) AFSとは？歴史と理念。
- (2) 福島支部の活動について
- (3) 異文化理解ってなんだろう？留学生との関わりで感じたこと。
- (4) 今年度の留学生が感じた異文化。

◆ 受講生の声

- ・実際に留学生からの生の声を聞いたことは良かった。もっと話を聞きたかった。また、日本から海外へ行って帰ってきた人の話なども聞けるとなお良かったと思う。
- ・同年代の人が留学しているのを見てかなり刺激になった。
- ・交換留学生のお話を聞きました。日本に来て自国と違った文化を持っている中に踏み込むのはすごい勇気があると思います。相手の文化を知るよりも、自分の文化を第一に知るべきだと学びました。

講座 E

タイとパナマでの土作り

講座担当者：森田 久夫さん（シニア海外ボランティア）



- ◆ 講座のねらい
 - ・異なる文化の派遣国で土作りをめざし工夫しながら継続する事や日常生活に触れ地域の方との交流を大切にする。
- ◆ 講座の内容
 - ・視聴覚教材を活用し、応募動機や現地（タイ・パナマ）の様子を具体的に説明。
 - ・目的・計画を設定・実践し、結果を求めるための工夫に苦慮した体験等について説明。
 - ・帰国後は、ボランティア活動を通じて得た貴重な経験を暮らしの中に役立てていることについて説明。
- ◆ 受講生の声
 - ・スペイン語に苦労したとお聞きしましたが、体験談からはやっぱり生きた知識をいただきました。
 - ・専門的すぎてよくわかりませんでした。シニアの方のボランティアの様子がわかりました。ただ現地の方々との交流などについてのお話も伺いたかったです。シニアの方々の熱意にあやかりたいです。
 - ・農業における国際協力を慣行でなく有機で行うことの意義についてより多く語ってほしかった。

講座 F

ベトナムでの医療協力～15年間の活動が意味するもの～

講座担当者：後藤 あやさん（福島県立医科大学 総合科学教育研究センター）



- ◆ 講座のねらい
 - ・プロジェクトの維持継続と現地の主体性向上には、双方向性のパートナーシップ構築が大切であることを学ぶこと。
 - ・参加者と一緒に今後の展開について考えること。
- ◆ 講座の内容
 - (1) 「国際協力・交流とは」について参加者に考えてもらう。自己紹介。
 - (2) 国際交流のきっかけ及びベトナムについて紹介。
 - (3) 課題についてグループで話し合った後、発表を行う。
 - (4) 15年間の活動の振り返り。
 - (5) 今後の展開について参加者に考えてもらう。
 - (6) 再度「国際協力・交流とは」について参加者に考えてもらい、受講前後の意見を見比べる。
- ◆ 受講生の声
 - ・手法を知っているのに気が付けていない部分や新しい見方がわかった。
 - ・ベトナムの医療と日本の協力活動について学ばせていただきました。とても有意義でした。お茶が

サイコーにおいしかったです。ジャックフルーツも！

- ・活動（考えること）を通して国際協力に対する見方が深まりました。第一線で活躍されている専門家の方の姿に憧れました。
- ・現地の事を良く理解しないと、真の医療協力はできないということを学びました。
- ・現地のニーズに合わせて着実に進んでいくことが重要だと思った。支援して終わりにならないように、計画していくことを大切にしたいと思う。

🍁 クロージングセッション1 🍁 (16:00~16:40)

1 1日目の振り返り

全体講師：田中 浩平さん（青年海外協力隊ネパール会）



◆ 講座のねらい

- ・1日目の学びと疑問点の共有と確認

◆ 講座の内容

- ・導入：違う講座に参加したものがグループになり、自己紹介。
- ・展開：それぞれのグループで1日目の講座で学んだこと、疑問点、モヤモヤしたことなどを出し合い、付箋に書き出し、シェアする。
- ・まとめ：全体で紹介、シェアする。それぞれの項目（学んだこと、疑問点、モヤモヤしたこと）で付箋をポスターの裏紙を使い、貼っておく。

◆ 受講生の声

- ・今日1日の講座を今日のうちに振り返ることができ、自分の改善点も見つけることができた。
- ・田中先生はオープニングと合わせて楽しく話を進めてくださった。
- ・違う講座を聞いた人の感想や意見を聞けたので良かった。

2 中締め挨拶

公益財団法人福島県国際交流協会 事務局長 橋川 敦子



🍁 宿泊オリエンテーション 🍁 (16:50~17:30)

施設の使い方、グロセミカフェ、夕食交流会について説明を行った。



🍁 夕食交流会 🍁 (18:00~18:50)

福島県国際交流協会のふくしまユースグローバルカレッジ卒業生が進行役を務め、テーブルは色紙のくじを参加者に引いてもらい、色ごとに分けた。さらに、各テーブルで「大切なもの」について発表し合った。

◆ 受講生の声

- ・くじ引きでまた知らない方とどんどん交流でき、交流の輪を広げることができました。
- ・ご飯がおいしく、いろいろな人と交流できた。
- ・私の今の悩みを解決してくれる人に会うことができた。
- ・くじ引きでグループを決めていたが、人数にばらつきが見られた。交流が盛んなテーブルとそうでないテーブルがあったので、交流を活発にするために高校生、大学生、教員、企業などある程度分散させても良かったと思う。
- ・「大切なもの」をテーマに話すのは面白かったです。多様な考えが出るテーマで話すのは良い。



🍁 グロセミカフェ 🍁 (19:00~20:30)

夕食後の時間を使って、グロセミカフェと題して講師とのフリートーキングの時間を設けた。参加者は、飲み物を片手に講師のブースを自由に移動しながら、気軽に話を聞くことができた。

◆ 受講生の声

- ・サモアやガーナの民族衣装を着たり、楽器をたたいたり貴重な体験ができた。
- ・ネパールのフェアトレードの話や外国人が日本人から聞かれて嫌なことを聞いた。具体的なことを聞き出すような会話がミソ。
- ・コーヒー以外の飲み物があると良い。ちょっとしたお菓子があると嬉しい。
- ・割とフリートーキングで、一方的すぎないところが良いと思った。
- ・二つのブースをまわり、講師だけでなく参加者とも話すことができた有意義な時間でした。



協力隊訓練模擬体験 (6:30~7:00) 9月24日(日)



協力隊の模擬体験として、ラジオ体操とランニングを行った。

自主セッション (8:30~9:20)

A Hello, we are Asaka Reimei English Club!

講座担当者：安積黎明高校イングリッシュクラブさん



◆ 講座紹介

- ・人と人との交流、英語、ホームステイ、高校生にとって身近な問題について、5つのグループが英語で発表します。毎日の勉強や学校生活の中で興味を持ったり、考えたりしたことをぜひ皆さんと共有し、学び合いたいと思います！

◆ 受講生の声

- ・生徒が発表する試みは面白いと思った。
- ・同じ高校生なのに英語力も高くてセッションできる程の知識があるのはすごいなと思いました。
- ・英語が流暢すぎてとてもすごかった。食品ロスに興味を持てた。ひとつ聞けなかったのが残念。
- ・発表するのは緊張したけれど、お客さんが真剣に聞いてくれて嬉しかった。
- ・伝えたいことをしっかり伝えることができた。

B 社会人バックパッカー、グアテマラへ旅立つ

講座担当者：菅野 ひかるさん（青年海外協力隊OV）



◆ 講座紹介

- ・バックパック旅行の中で生まれた国際協力への関心から、青年海外協力隊へ。未知との出会いが旅の醍醐味なら、協力隊の2年間はその出会いを深く掘り下げるもの。グアテマラ生活のリアルと、新鮮な驚きをお伝えします！

◆ 受講生の声

- ・やりたいことをやってみましょう、どんどんという言葉に後押しされました。
- ・地球上で生活できない場所はない。どう感じ、どう生きるか。
- ・社会人バックパッカーの菅野ひかるさんのお話を拝聴しました。とても感動しました。私も将来ひかるさんのようなJICAに加わりたいと心から思いました。
- ・実際の隊員しか知らないこと、小さなアドバイスを経験から教えていただくことができた。自分の目標に前向きになれた。
- ・体験話を聞いたことで、自分もバックパッカーの旅をやってみたいと思えた。

C 海外進出日系企業の税務支援

講座担当者：グエン・ティ・ヴェット・フォンさん（税理士法人三部会計事務所）



◆ 講座紹介

- ・国際税務とは？海外に進出する日系企業が増えてきた今、税務上でどんな困り事があるか、どんなニーズがあるか？日本の会計事務所に勤めている外国人からの観点でお話しします。国際貿易に興味がある方はもちろん、初めての方も大歓迎です！

◆ 受講生の声

- ・ベトナムから見た税的な面での大変さに触れられた。
- ・ベトナムの若い力、これからベトナムと日本の懸け橋になろうという意欲を感じた。
- ・ベトナムから来て日本でしっかり働いている方のお話が聞いて良かったです。
- ・日本の企業がどうすればベトナムへ進出できるのか、考えるきっかけになった。
- ・フォンさんのことを少し知ることができた。企業が海外に進出する際の税務、確認できる人、アドバイスできる人、フォンさんがベトナムと福島・日本をつなげてくれると期待。

D やさしい日本語～人と人を繋ぐための国際交流～

講座担当者：常松 勇佑さん（FSGカレッジリーグ国際部非常勤講師）



◆ 講座紹介

- ・ やさしい日本語って何だろう？どんな話し方がやさしいの？日本語学校ではどんなふうに教えているの？日本語を学ぶ学習者さん達からあがったちょっと面白い質問や困ったことなどを交えながら一緒に考えてみませんか？

◆ 受講生の声

- ・ 外国人にいかにやさしい日本語で伝えるかについて、大変参考になった。
- ・ 外国人にわかりやすい日本語とはどんな日本語かよくわかりました。また、外国人の方の生の声を聞くことができたことも有益でした。
- ・ 手話ニュースのようなものが、やさしい日本語ということが理解でき、発見できた。
- ・ やさしい日本語は相手を思いやりながら伝えることなのだわかりました。「相手軸」って大切ですね！やさしい日本語で話すためには日本についてよく知ることも大切だと思った。

E 微笑みの国「タイ」から～本当の幸せって何だろう？～

講座担当者：齋藤 健也さん（グローバル6期生）



◆ 講座紹介

- ・ 日本青年国際交流機構主催のタイ王国・スタディツアーに参加した経験、感想の紹介を交え、みなさんと一緒に“幸せ”について考えてみたいと思います。その中でみなさんにとって新しい発見をしてもらえたら幸いです。タイや外国について詳しくない人も大歓迎です！

◆ 受講生の声

- ・ とても有意義な活動に参加しましたが、伝える力が弱いため、説明やテーマははっきりしていませんでした。
- ・ 発表者が大変そうだったので、高校生は担当の先生がついてくれているか、大学生や一般の方への協力も必要ではと感じた。

F 昔々あるところにマオリ族がいました。～永遠の裕福を目指す部落 Ngai Tahu～

講座担当者：トビー バークベック ジョーンズ（福島県国際課 国際交流員）



◆ 講座紹介

- ・ NZにいる最大な Ngai Tahu というマリオ族の部落は、英国人の植民の影響で 150 年以上苦勞を強いられていたが、なんと今は 34 億ドル分の財産を有する一番裕福な部族に！ どうやって困窮な状況から今日の地位まで上り詰めたのか、そしてどんな文化・歴史を持つのか？！

◆ 受講生の声

- ・ 部族というものがどんなものかを知らなかったのが、新しい知識がまた増えて良かった。
- ・ マオリ族の事、いっぱい知れてとても良かったです。ニュージーランドに行きたくくなりました。
- ・ マオリ族の社会構成、文化の特徴、最初の業界ブームなど、マオリ族について深く学べた。日本人の監修が入ると受講者に伝わりやすかったと思う。
- ・ 部族というマイノリティな立場への興味が深まった。

G Let's Talk About～ミスコミュニケーションから相互理解に向けて～

講座担当者：大屋直美（公益財団法人 福島県国際交流協会 国際交流員）



◆ 講座紹介

- ・ 3つの文化で育てられた自分の経験から、国際結婚についての話と、日本人が何気なく外国人にする質問やコメント等を外国人に違和感を覚えさせることについて話します。私の実体験をもとに異文化交流のあり方についてお話します。

◆ 受講生の声

- ・ ハーフの方々の心情や苦勞がわかり、勉強になった。
- ・ 日本人が何気なく交わっている会話、外国人には傷ついているケースが多いことを学んだ。
- ・ 出生地、出身地は人のアイデンティティにおいて大きな割合を占めるがゆえに、無知から相手を傷つけるような発言をしてしまう可能性があることが改めて理解できた。
- ・ 3つの文化で育ってきた経験や当時の思いなど、詳しくすることができました。ハーフをミックスと置き換えるといった工夫もされていて、異文化にさらに興味を持ちました。
- ・ ハーフの話をしていて、私もハーフなのですごく共感することがありました。

🍁 セッション3 🍁 (9:35~10:45)

講座 A

ガーナからHAPPYを学ぶ

講座担当者：諏佐 好美さん（いわき市立小玉小学校養護教諭）



- ◆ 講座のねらい
 - ・ガーナでの教師海外研修で見てきたこと、感じたことの紹介。
 - ・本校での実践紹介を通して、「本当に大切なもの」とは何かを考えてもらう。
- ◆ 講座の内容
 - ・挨拶、研修について紹介。
 - ・ガーナの現状（視察したこと）報告。
 - ・学校での実践紹介。
 - ・「本当に大切なもの」とは何か考える。
- ◆ 受講生の声
 - ・ガーナの子供達は笑顔が満ちていた。ガーナと日本の子供の違いがよく分かった。
 - ・「子どもはみんな同じ、環境がそうさせているだけ。」という言葉に考えさせられました。私も教育を学んでいるので、これからいろいろできたらと思います。
 - ・「～できない」ということを「あるものでどうすればできるか」というワードが心に残った。いろんなことを知っていきたいと思った。
 - ・自分の生活している環境、普通ではなくて恵まれていると知った。人と人が助け合うことでいろんなことができると思った。思いやりの心が大切だと思った。
 - ・ガーナでの学びをどう生徒に還元したかがわかりました。

講座 B

この福島の片隅に～中国人から見た福島の魅力～

講座担当者：徐 銓軼（福島県国際課国際交流員）



- ◆ 講座のねらい
 - ・外国籍住民の視点から福島の今昔を語り、「世界の一部」であるふくしまの見落としがちな魅力を知

ってもらおう。

◆ 講座の内容

- ・導入：9月20日に通行制限が解除された国道114号線の浪江町津島～室原（浪江IC）間の27キロの通行映像を倍速で再生する。
今現在でも帰還困難区域である同区間の一般車両の通行再開は、果たしてどんな意味があるのか、と受講者たちに問いかけると同時に、「道」と「県土」のつながりを強調する。
- ・展開：過去県内各地で取材した鉄道や道路をスライドショーの形でプレゼンする。内容は、国道13号線「万世大路」、国道289号線「八十里越道路」、JR.只見線不通区間、JR日中線熱塩駅跡など。また、福島県令であり、土木工事に熱心だった三島通庸氏の功罪も合わせて紹介する。
- ・まとめ：「道」の数だけ「県土」にまつわるエピソードがある。福島は決して「地味」ではない。この世界の一部であるふくしまの片隅に、無尽蔵な魅力が発掘者を待っている。

◆ 受講生の声

- ・強烈的な福島愛を伝えられました。違う目で見た福島、とても新鮮でした。
- ・福島の魅力について「道」をテーマに構成していたところが多方面からの視点に立って物事を見るキッカケになりました。赤石駅に私も今度行ってみたいです。
- ・中国の方から中国の話聞いたことはありますが、日本の事を聞いたのは初めてでした。講師さんは本当に日本・福島の事を良く知り、よく考えてくれていて、自分もそんな人になりたいと思いました。
- ・道以外のお話も聞きたかった。福島愛が伝わってきた。

講座 C

南米に「喜多方ラーメン」の華が咲く

講座担当者：武藤 啓一さん（喜多方市 地域・家庭医療センター）



◆ 講座のねらい

- ・南米、特にブラジル日系社会との経済交流を通し、日本とブラジルの地域振興への関わりを構築し、歴史の重みと意思の近さを再認識し、遠い南米から見る世界観を再発見する。

◆ 講座の内容

- ・世界観と人生挑戦
- ・南米と福島の経済交流
- ・喜多方清酒と喜多方ラーメンの輸入の成功。グローバル社会における日系人の姿。

◆ 受講生の声

- ・貿易という難しいものにも積極的に取り組めるようになりたいと思う。
- ・福島県民なのに喜多方の人がこんなに頑張っているんだという新しい発見で面白かったです。
- ・ブラジルの習慣をいっぱい知ることができました。貿易大事と感じました。
- ・タイトルのお話は少しでしたが、それ以上に楽しいお話が伺えました。ブラジルと日系企業とのつながりをもっと知りたいと思いました。

講座 D

ベトナム人技能実習生～その制度と現状～

講座担当者：ブイ バン ホックさん（福島県国際交流事業協同組合 通訳・相談員）



- ◆ 講座のねらい
 - ・ 福島県におけるベトナム人技能実習生の現状について伝える。
 - ・ 今後ベトナム技術実習生がよりよく実習できるようにする。
- ◆ 講座の内容
 - ・ 日本における外国人技能実習制度について。
 - ・ ベトナム実習生の現状。
 - ・ 成果と今後の課題について。
- ◆ 受講生の声
 - ・ 技能実習生制度とベトナム人の活躍を知ることができて、また福島とのつながりを知れて勉強になった。
 - ・ 現状や問題点がわかりやすかった。
 - ・ 技能実習制度について詳しく知ることができました。また、ベトナム人の傾向や良い関係を築くために大切なことを知ることができて良かったです。
 - ・ マイナスイメージしか持ってなかったが、プラスな現状もあると思った。
 - ・ 福島県での現状：最低賃金で働いている。職種は多い。「技能実習制度」って本当に良い?? 失踪する理由：甘い誘惑もあるが、逃げるなりの理由もあることを理解する必要あり。本来の目的を忘れないなら最高の制度であると思う。

講座 E

カンボジアの開発僧たち～復興を支える寺院と僧侶の活動～

講座担当者：横山 俊顕さん（曹洞宗安洞院住職）



- ◆ 講座のねらい
 - ・ カンボジアの仏教寺院の視察から見てきた復興の現状、現場で活躍する開発僧たちや在家信者の活動に学ぶ。
- ◆ 講座の内容
 - ※スライドで写真や現地の動画を紹介しながら進行した。

- ・カンボジア、仏教について概説（世界の仏教戒律クイズ）。
- ・ポル・ポトの虐殺について。
- ・復興の現状について。開発僧の活動。
- ・さまざまな僧侶たちの姿と日常のリアル。寺を支える人々。
- ・カンボジアに学び、日本の宗教施設で出来ることを考える。グループディスカッション「もしあなたが住職なら」

◆ 受講生の声

- ・寺院、仏教、カンボジアの歴史や現状が知れて良かったです
- ・わかりやすい話し方で良かった。
- ・ほとんど知らない仏教の世界、支援について知ることができた。また、地域とつながることについて考えるきっかけになった。
- ・カンボジアの仏教のことだけでなく、仏教全体、ひいては宗教とはなにかを知り、考えるきっかけになりました。
- ・カンボジアの仏教のことが学べ、各国の戒律の違いのクイズも良かった。グループディスカッションの時間もあって良かった。

講座 F

サモアでサッカー?! スポーツで国際協力?

講座担当者：佐原 悠太さん（福島大学人間発達文化学類 スポーツ芸術専攻科（青年海外協力隊））



◆ 講座のねらい

- ・サモアでの青年海外協力隊の経験を通して、スポーツで国際協力する楽しさや難しさを体験してもらう。

◆ 講座の内容

- ・自己紹介、サモア紹介（サモア語であいさつ・じゃんけん大会）。
- ・活動紹介、活動疑似体験（模造紙・付箋等を用いたグループ活動）。
- ・活動・生活から学んだこと。

◆ 受講生の声

- ・JICA の実際を知れて良かった。
- ・ワークショップのようなものがあって実際の活動のイメージができた。
- ・郷に入っては郷に従うことが重要であることを理解。
- ・サモアでのギャグのような生活がすごく面白かったです。人間と人間の関係の難しさや楽しさが伝わりました。
- ・サモアの挨拶、じゃんけん、文化を知れて、体験できて楽しかった。青年海外協力隊に興味があるので、苦労話も聞けて良かった。



クロージングセッション2



（11：00～11：40）

全体講座：田中 浩平さん（青年海外協力隊ネパール会）

- ◆ 講座のねらい
 - ・ 2日間のセミナーでの学びを共有し、参加者の今後のアクションにつなげる。
- ◆ 講座の内容
 - ・ 導入：今まで話をしていない、受講講座が違う参加者でグループになり、自己紹介と2日間の学びの共有。
 - ・ 展開：もう一度、別のグループを作り、自己紹介と2日間の学びの共有。
 - ・ まとめ：2回目のグループでそれぞれ一人ずつアクションプランを作り、発表し、共有。
- ◆ 受講生の声
 - ・ 価値観を変えられた。
 - ・ 自分の目標が正確になった。
 - ・ ひとの意見を聞くだけでなく、相手に対しての思いやりを持つことが大事。
 - ・ 自分とは違う意見を持った人と話すことができ、たくさんの学ぶことができました。



🍁 閉会式 🍁 (11:40~11:50)

- 1 あいさつ
JICA 二本松 所長 洲崎 毅浩



- 2 事務連絡

ふくしまグローバルセミナー2017 アンケート集計

回収枚数 131

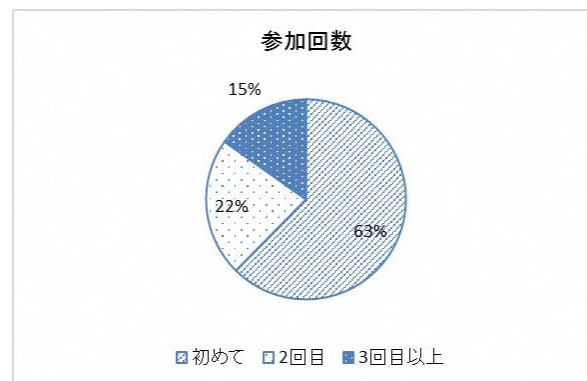
※提出されたアンケートは、すべての項目が記入されているわけではないので、総数と各項目の実数には乖離があります。

グロセミ感想

1 これまで「ふくしまグローバルセミナー」に参加したことがありますか？

有効回答数 125

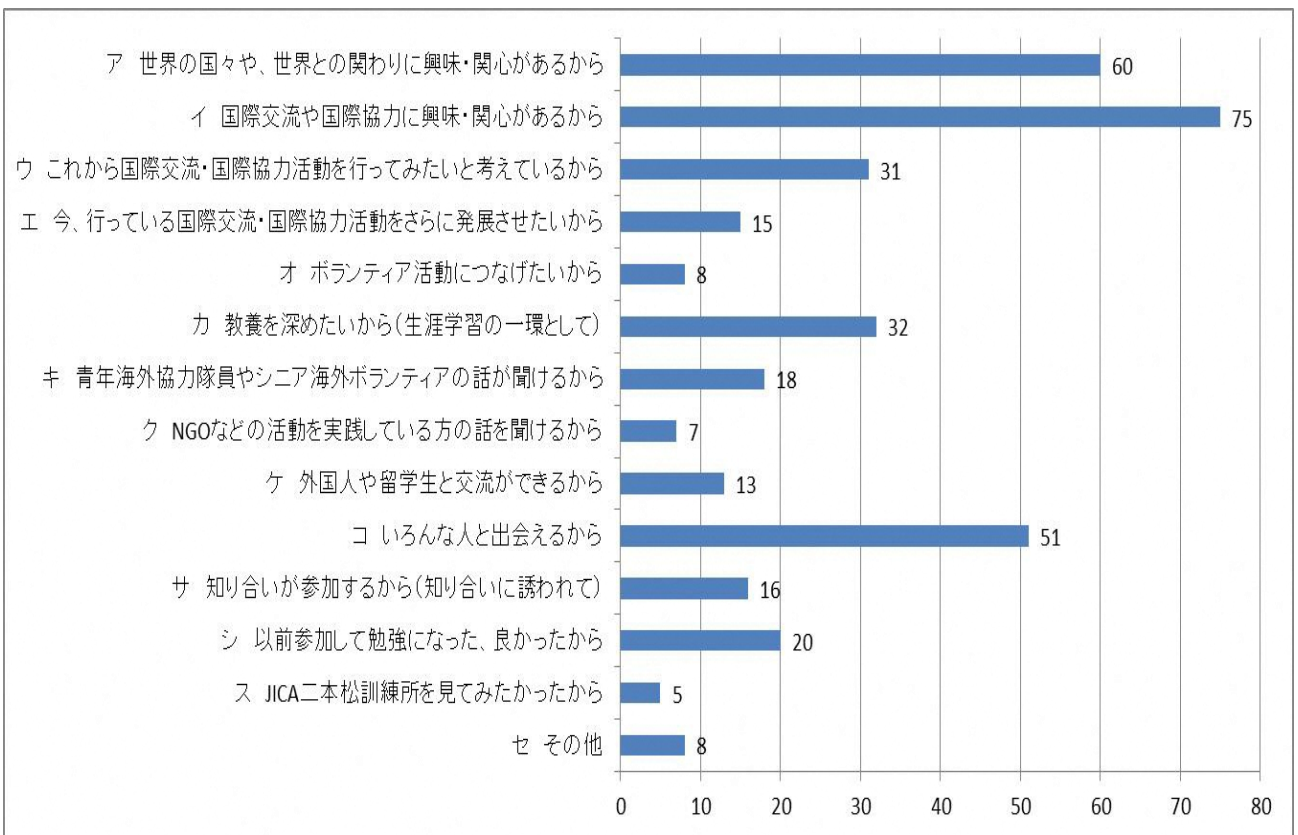
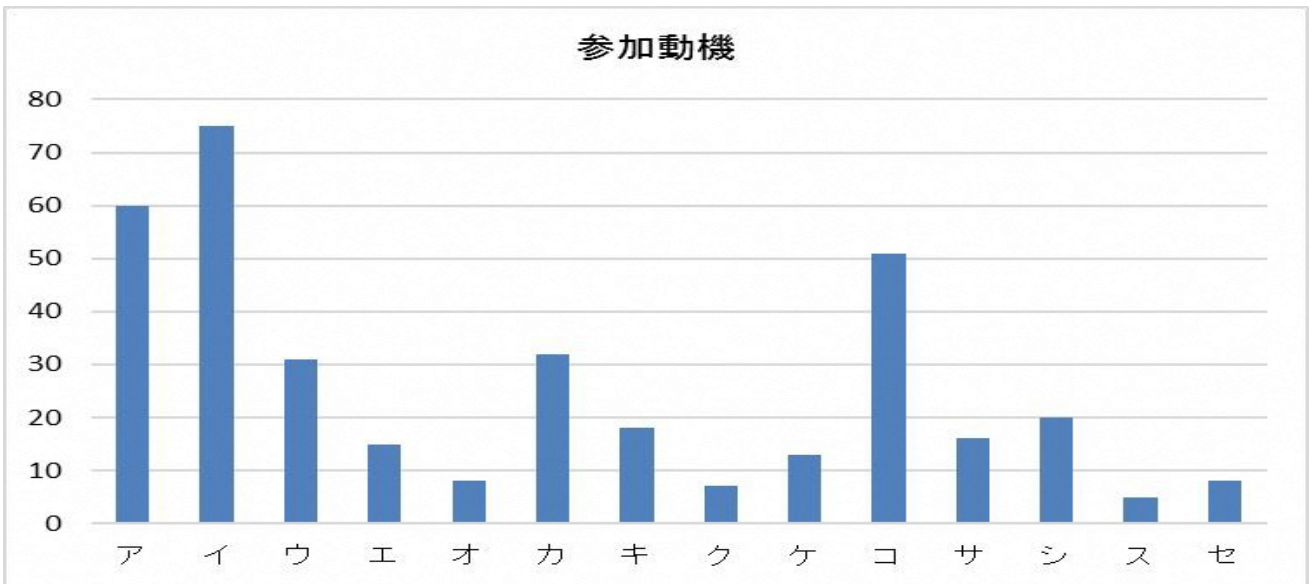
初めて	2回目	3回目以上
78	28	19



2 「ふくしまグローバルセミナー2017」に参加したきっかけや動機は何ですか？
主な理由を3つ選んでください。

有効回答数 123

項目	人数
ア 世界の国々や、世界との関わりに興味・関心があるから	60
イ 国際交流や国際協力に興味・関心があるから	75
ウ これから国際交流・国際協力活動を行ってみたいと考えているから	31
エ 今、行っている国際交流・国際協力活動をさらに発展させたいから	15
オ ボランティア活動につなげたいから	8
カ 教養を深めたいから（生涯学習の一環として）	32
キ 青年海外協力隊員やシニア海外ボランティアの話が聞けるから	18
ク NGOなどの活動を実践している方の話を聞けるから	7
ケ 外国人や留学生と交流ができるから	13
コ いろいろな人と出会えるから	51
サ 知り合いが参加するから（知り合いに誘われて）	16
シ 以前参加して勉強になった、良かったから	20
ス JICA 二本松訓練所を見てみたかったから	5
セ その他	8



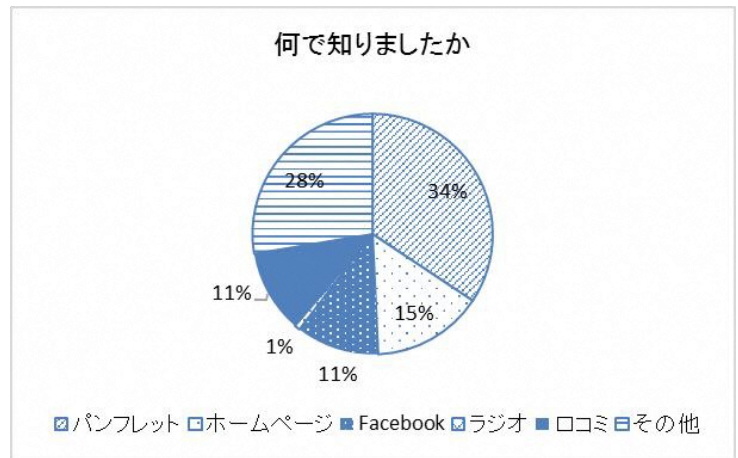
3 「ふくしまグローバルセミナー2017」を何で知りましたか？

有効回答数 123

パンフレット	ホームページ	Facebook	ラジオ	ロコミ	その他
46	20	15	1	15	37

(その他)

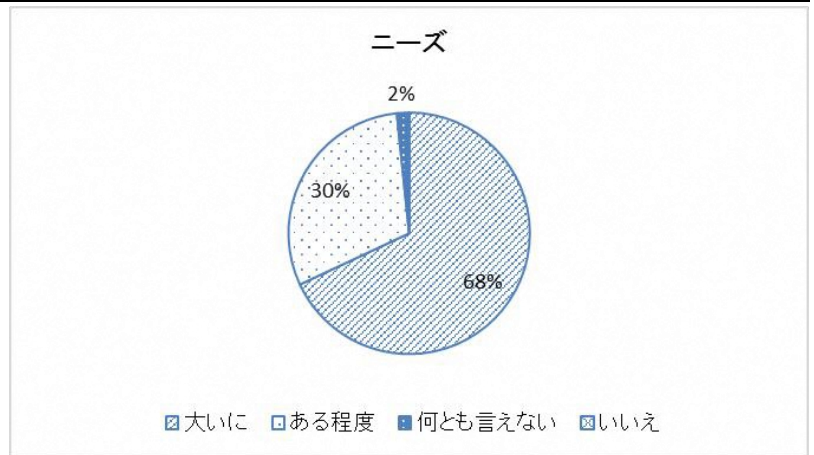
- ・ 毎回参加。
- ・ 以前も参加して、毎年の企画だと知っていたから。
- ・ 先生、学校、部活の紹介。
- ・ 大学のサークルの先輩から。
- ・ 友人から。
- ・ 福島県国際交流協会からの紹介。(日本語教室ボランティア講習、GC カフェ、メルマガ)
- ・ ナオミさん。
- ・ 部活でアフリカの講演会をしてくれた方がいて、その方から案内の話をもらいました。
- ・ 国際課からの紹介。(前回参加したので国際課からの案内)



4 「ふくしまグローバルセミナー2017」は、あなたのニーズに合っていましたか？

有効回答数 123

大いに	ある程度	何ともいえない	いいえ
83	37	2	0



5 「ふくしまグローバルセミナー2017」は、今後の活動に役立つと思いますか？

有効回答数 123

大いに	ある程度	何ともいえない	いいえ
96	22	4	0

